



観賞魚飼育方法

エンゼルフィッシュ・ディスカス・グッピーなど

魚を選ぶときはまずスタッフによく相談しましょう。特に初心者の場合、比較的飼育しやすい魚を選ぶようにしましょう。良い魚は動きが活発で、ヒレもよく伸び、色ツヤもきれいです。

水槽をセットし、入れる時は、水槽の水温と近づけるためにお店で入れてもらった袋のまましばらく(約10分)浮かべておきましょう。その後静かに水槽へ入れてください。

飼育に必要なもの

①水槽



室内で観賞魚を飼育する場合には水槽が必要です。何かのケースでも飼えなくは無いです。観賞魚として飼う場合はやはり水槽が良いでしょう。

②フィルター(ろ過装置)



フィルターは汚れた水(ゴミやほこり)を取り除いてくれる作用と、水を浄化してくれるバクテリアの生息場所にもなります。

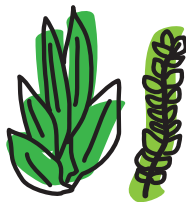
③砂利



砂利は水槽の底に敷き詰めて使用します。砂利があると観賞魚が落ち着きやすくなります。またバクテリアが繁殖し生息する場所にもなります。

④水草

水草は水槽の見た目を良くしてくれる効果と、光合成を行い酸素を水中に供給してくれます。



⑤ヒーター・サーモスタット

ヒーターでは加温、サーモスタットでは温度の管理を行います。ヒーターとサーモスタットが、それぞれ別々になっている分離型。一体になっているオートヒーターとあります。



⑥照明器具



照明は観賞魚を観察する時にあるとキレイに見えます。そして水草がある場合は水草の成長に必要な光の供給をしてくれます。観賞魚の種類によっては光が無い水槽で長い間飼育していると、観賞魚の体の色彩が色あせる事があります。

⑦エサ

水面に浮くもの、沈むものなど様々な種類があるのでその魚に合ったものを選んであげるといいでしょう。

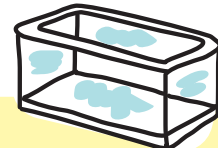


⑧カルキ抜き

水道水のカルキを中和するものです。飼育水を交換する時に必ず必要です。



水槽のセット



- ① 水槽の設置場所を決めます。**
安定して、直射日光が当たらない場所にし、水替えや掃除などのメンテナンスもしやすい場所にしましょう。
- ② 水槽を洗いましょう。**
洗剤は使わず、よく洗いましょう。
- ③ 砂をいれましょう。**
砂利をよく洗い、2~3cmの厚さに敷きましょう。
- ④ 保温器具などをとりつけましょう。**
熱帯魚の飼育に保温は欠かせません。保温装置はヒーターとサーモスタットを組み合わせるのが一般的ですが、一体型のオートヒーターも便利です。
- ⑤ 水をいれましょう。**
水道水を24~26℃に調節しながら、水槽に半分ぐらいの量を砂利が舞い上がらないように板や発泡スチロールで受けながら静かに入れましょう。
- ⑥ 中和剤を入れましょう。**
水道水には塩素が入っています。入れた量に応じて塩素(カルキ)を抜くため、中和剤を入れましょう。
- ⑦ 水槽をレイアウトしましょう。**
アクセサリやバックスクリーン、水草などでレイアウトをしましょう。
- ⑧ 水を足しましょう。**
水槽のレイアウトが終わったら、水槽枠の下に水面ぎりぎり見える程度まで水を足しましょう。
- ⑨ フィルターをセットしましょう。**
フィルターはゴミを取る物理ろ過とバクテリアを発生させる生物ろ過を行います。
- ⑩ ライト、エアーポンプをセットしましょう。**
水槽、水草の量に合わせたタイプを選びましょう。
- ⑪ 準備完了**
全ての器具をチェックして作動するか確認し、一週間ほど置きろ過バクテリアが繁殖をし水質が安定したら魚を購入しましょう。



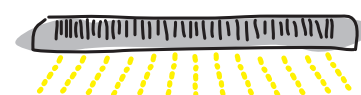
えさ



与えすぎは水質を悪くします。5分くらいで食べつくす量を1日2~3回が理想的です。

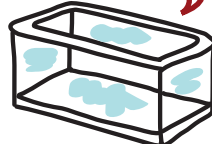
毎日のお世話

照明



蛍光灯の光量は条件によって違います。特に水草水槽の場合は少し多めにワット数を設定してください。1日の照射時間は10~12時間にしてください。

水替え



1週間~10日を目安として、定期的に水槽の1/3~1/2程度替えてください。